

3. 品目別収益性・栽培体系事例

ここでは、いちご、バナナ、コーヒーの各品目について、それぞれ3経営体の収益性や栽培体系の事例調査を行った。

(1) いちご

①経営体

1) 農業経営収支

単位：円

項目		10a 当たり	備考	
生産額		3, 379, 766		
うち観光収入		2, 679, 728	入園料、体験料、持ち帰り料金含む	
経営費	種苗費		0	村の育苗センターにて自家採苗
	肥料費		81, 981	
	農業薬剤費		312, 112	天敵農薬等
	光熱動力費		165, 394	ガソリン代等
	その他諸材料費		255, 662	うち培養土 71, 973 円
	土地改良及び水利費		5, 442	
	賃貸料及び料金		238, 400	うちトイレ等リース代 170, 068 円
	租税公課		12, 245	
	償却費	建物・施設	872, 903	うち高設ベンチ 824, 694 円
		農機具	102, 156	
		植物・家畜	0	
	償却資産修繕費		36, 126	
	雇用労賃		315, 858	パート雇用
	共済掛金等		138, 492	
	販売経費	手数料	0	
		選果料金等	0	
配送運賃		0	自家用車で配送するため支出無し	
包装資材費		8, 844		
経営費計		2, 545, 615		
所得		834, 151		

2) 栽培体系

• 主要事項

施設	栽培方式	主要栽培品種	10a 当たり株数	主な販売先
アーチ型ビニールハウス	高設	かおり野	6,500	いちご狩り

• 管理

① 灌水	6 月	1 回/ 1 日	
	7 月～9 月	朝 1 回/ 1 日	
	10 月～11 月	1 回/ 1 日	
	12 月～5 月	1 回/ 2 ～ 3 日	
② 病虫害対策	主な病虫害名	発生時期	主な対策
	萎凋病	10 月～11 月	土を取替える。
	炭疽病	6 月～10 月	苗を抜き取る。
	疫病	6 月～11 月	苗を抜き取る。
	灰色カビ病	12 月～4 月	実を取る。農薬散布する。
③ 台風対策	ビニールの巻上げ 防風ネットを張る。		
④ 日照管理	育苗時の遮光は 50%遮光のネットを使用し、11 月に外す。		
⑤ その他作業	6 月～10 月の育苗期間は別のハウスで育苗し、11 月に本畑ハウスに定植する。		

• その他

栽培上の特徴	いちご狩り主体のため、味や希少性よりは、育てやすさ（特に、病虫害に強いこと）と収量を重視している。土詰めポットを福祉施設より購入している。
販売上の工夫	いちご狩り主体の経営だが、村内の直売所、菓子店、保育所、加工所（ジャム、パン、ケーキ）にも出荷している。販売先は 6 カ所に及んでいる。なお、等級によって売り先を変えている。
人員確保の方法	家族経営だが、年によってはパートを雇用している。1 月から 4 月の繁忙期における除草や株手入れが主であり、全体の作業時間の内、2 割程度である。
経営上の課題	天敵農薬を導入しているため、農薬費が割高となっているが、来園者の安全のため、必要経費と認識している。また、今後、後継者の増加に伴い、村の育苗センターから苗を十分に確保できなくなることが懸念事項である。

• 10a 当たりの年間作業内容（雇用労働による作業を含む）

月	旬	いちご狩り・バック詰め	収穫・出荷・調製	親株育成・ランナー受け	育苗・定植準備・定植	株手入れ	株等のかたづけ	灌水	農薬散布	肥料散布	施設内外清掃・除草	台風対策	商談、研修他	時期別合計 作業時間
1月	上	12	13			19		7	2		14		11	78
	中	19	12			34		5	5	14	15		20	124
	下	29	10			23		7	3		14		15	101
2月	上	20	7			34		7	5	3	14		3	93
	中	20	3			54		6	3	3	25		4	118
	下	16	3			10		5	3		20		3	60
3月	上	19	7			20		4	4		20		12	86
	中	24	6			33		3	7		14		5	92
	下	28	8			24		3	7		14		4	88
4月	上	19	12			18		3	3		14		9	78
	中	16	27			35		3	3		18		8	110
	下	20	12			24		3	3		14		4	80
5月	上		3			11	18	2	1	3			3	41
	中		3			30		3	3		4		7	50
	下		3	41		2		4					5	55
6月	上			20			5	7			3		7	42
	中			28			20	9	1	3			3	64
	下			29			2	13	1	3	3		1	52
7月	上			50			24	12					7	93
	中			23				11	4		7		3	48
	下			29				20	3	5			1	58
8月	上			19	5		21	18	1	5	1		4	74
	中			22	12			16	1		4		1	56
	下			20	11			22	1	4	3		2	63
9月	上			16	10		22	20	1				1	70
	中				10			19	1	2	14	5	1	52
	下				33			20	1				3	57
10月	上				41			20	1				1	63
	中				39	20		20	2	1		5	1	88
	下				31			16	2		1	7	10	67
11月	上				33			10	2		6		10	61
	中		5		18	20		7	5		3		1	59
	下		10		19			7	5		4		3	48
12月	上		12	3		24		7			2		3	51
	中		35			30		7	6		1		2	81
	下			11	7								42	60
内容別 合計作業時間		242	191	311	269	465	112	346	90	46	252	17	220	2,561

※内容別合計作業時間の多い上位3つは黄色で網掛けしている。

※時期別合計作業時間が100時間を超えるものは緑で網掛けしている

⑧経営体

1) 農業経営収支

単位：円

項目		10a 当たり	備考	
生産額		2, 202, 519		
	うち観光収入	2, 202, 519	入園料、体験料、持ち帰り料金含む	
経営費	種苗費		82, 092	村の育苗センターにて採苗するだけでなく、試験的に複数の品種を少量購入している。
	肥料費		84, 815	
	農業薬剤費		72, 998	
	光熱動力費		150, 775	ガソリン代
	その他諸材料費		113, 146	
	土地改良及び水利費		0	
	賃貸料及び料金		154, 815	ハウスリース代
	租税公課		0	
	償却費	建物・施設	0	ハウス、ベンチ等は村有施設のため
		農機具	23, 598	家族から譲渡された車両を自前で修理し、経費を節減している。
		植物・家畜	0	
	償却資産修繕費		38, 171	
	雇用労賃		0	家族労働
	共済掛金等		12, 941	
	販売経費	手数料	0	
選果料金等		0		
配送運賃		0	出荷無し	
包装資材費		0		
経営費計		733, 351		
所得		1, 469, 168		

2) 栽培体系

• 主要事項

施設	栽培方式	主要栽培品種	10a 当たり株数	主な販売先
アーチ型ビニールハウス	高設	かおり野	6,000	いちご狩り

• 管理

① 灌水	6 月	朝 1 回/1 日 (手掛け)	
	7 月～9 月	朝 1 回/1 日、昼 1 回/1 日 (スプリンクラー)	
	10 月	朝 1 回/1 日 (手掛け)	
	11 月～5 月	朝 1 回/2～3 日 (手掛け)	
② 病害虫対策	主な病害虫名	発生時期	主な対策
	炭疽病	8 月～10 月	農薬散布、灌水量を少なくする。
	灰色カビ病	3 月～5 月	農薬散布、風通しを良くする。
③ 台風対策	ビニールの巻上げ 防風ネットを張る。		
④ 日照管理	6 月～10 月の間は、ビニールハウスの天窓を開ける。 降雨時、台風(強風)時は、天窓を閉める。 7 月～9 月の間は、65%の遮光ネットで日照管理をする。		
⑤ その他作業	6 月～10 月の育苗期間は別のハウスで育苗し、11 月に本畑ハウスに定植する。		

• その他

栽培上の特徴	試作的に 6 品種導入しており、その中から、4 品種に絞り込む予定。品種を絞り込む基準は①栽培しやすい②味が良い③香りが良い④実が硬い⑤実が大きいもの、としている。育苗、本畑ともに、手掛け灌水をこころがけている。
販売上の工夫	観光農園に特化しており、メディア等を利用した集客も積極的に行っている。
人員確保の方法	日頃の管理は夫婦で行い、土曜・日曜は、父親に手伝ってもらっている。
経営上の課題	今後、規模拡大を検討しており、家族労働では運営できなくなるため、雇用を継続的に行えるかが課題である。

• 10a 当たりの年間作業内容

月	旬	いちご狩り・バック詰め	収穫・出荷・調製	親株育成・ランナー受け	育苗・定植準備・定植	株手入れ	株等のかたづけ	灌水	農薬散布	肥料散布	施設内外清掃・除草	台風対策	商談、研修他	時期別合計 作業時間
1月	上	13				10		7	2		10		3	45
	中	19				14		6	2		7		10	58
	下	28				23		8	2				9	70
2月	上	21				11		7	4		2		10	55
	中	25				16		7	2				18	68
	下	19				10		6	2		3		14	54
3月	上	20				4		7	4		1		14	50
	中	25				18		7	1				16	67
	下	19				13		8	3				14	57
4月	上	22				21		7	1		1		16	68
	中	14				15		7	1				10	47
	下	15				15		7	3				15	55
5月	上	15				10		7	1				16	49
	中	5				4	7	7			2		10	35
	下						36	8			3			47
6月	上			35			29	7						71
	中			10			18	7			8		1	44
	下			17		2		7	1	1	4			32
7月	上			4	4			15	1		2			26
	中			2	2		9	13	1				10	37
	下			5	19			15	1	1			6	47
8月	上			1	8			15	15	1			4	44
	中			1	8			15	15	1			1	41
	下			1	19			16	15	1			1	53
9月	上			2	9			15	4					30
	中			1	16			15	1	1	1			35
	下			2	11			15	3					31
10月	上				22			15	1	2				40
	中				24			15	1		2		2	44
	下				11			16	1	1		2		31
11月	上				15			15	3	2			1	36
	中				15			21		1			1	38
	下				19			22	1		3			45
12月	上				12			22	3		1	4	1	43
	中				13			22	1			3	4	43
	下				14			22	1				5	42
内容別 合計作業時間		260	0	81	241	186	99	431	97	12	50	9	212	1,678

※内容別合計作業時間の多い上位3つは黄色で網掛けしている。

※時期別合計作業時間が100時間を超えるものは緑で網掛けしている。(該当なし)

◎経営体

1) 農業経営収支

単位：円

項目		10a 当たり	備考	
生産額		552, 900		
	うち観光収入	390, 900	入園料、体験料、持ち帰り料金含む	
経営費	種苗費		324, 000	苗代
	肥料費		110, 000	
	農業薬剤費		51, 918	
	光熱動力費		53, 760	
	その他諸材料費		268, 185	培養土代等
	土地改良及び水利費		17, 153	
	賃貸料及び料金		16, 000	
	租税公課		0	
	償却費	建物・施設	775, 000	うちハウス 400, 000 円、移動式棚 375, 000 円
		農機具	366, 014	うち送風機 300, 000 円
		植物・家畜	0	
	償却資産修繕費		45, 076	
	雇用労賃		0	
	共済掛金等		0	
	販売経費	手数料	0	
		選果料金等	0	
配送運賃		0	自家用車で配送するため支出無し	
包装資材費		810		
経営費計		2, 027, 916		
所得		-1, 475, 016		

2) 栽培体系

・ 主要事項

施設	栽培方式	主要栽培品種	10a 当たり株数	主な販売先
鉄骨ハウス	高設、移動棚	章姫	6,000	いちご狩り
		とちおとめ	6,000	道の駅、知人への販売

・ 管理

① 灌水	春	1 回/ 2 ～ 3 日		
	夏	無し		
	秋	1 回/ 2 ～ 3 日		
	冬	1 回/ 3 日		
② 病害虫対策	主な病害虫名	発生時期	主な対策	
	ダニ	11 月～12 月	葉水、農薬散布	
	アブラムシ	11 月～12 月 3 月～ 5 月	葉水、農薬散布	
③ 台風対策	ビニールの巻上げ			
④ 日照管理	10 月～ 5 月まで、ビニールを掛ける。 2mm 目のネットで遮光管理を行う。			

・ その他

栽培上の特徴	米ぬか、ぼかし肥料で減農薬栽培に努めている。 11 月～12 月、3 月～5 月の間は、ハウス内の温度が 25℃以上になると、1 日 3 回の打ち水を行い、高温にならないように努めている。
販売上の工夫	売り上げの 7 割はいちご狩りで、他は、道の駅、知人への販売である。
人員確保の方法	現在は、会社内の労働力で営まれている。
経営上の課題	今期は、苗の入手が遅れたことにより、収穫期間が短くなり、生産額が大きく落ち込んだ。

• 10a 当たりの年間作業内容

月	旬	いちご狩り・バック詰め	収穫・出荷・調製	親株育成・ランナー受け	育苗・定植準備・定植	株手入れ	株等のかたづけ	灌水	農薬散布	肥料散布	施設内外清掃・除草	台風対策	商談、研修他	時期別合計 作業時間
1月	上							6	3	1				10
	中				7	7		6	4	5				29
	下							6	4	21				31
2月	上							6	4	21				31
	中		12					6		15				33
	下		12					6		9				27
3月	上	40	12					12		8				72
	中	40	12					12		8				72
	下	44	12					15		16				87
4月	上	48	12					12		40				112
	中	48	12					12		24				96
	下	48	12					13		32				105
5月	上	48	12					10		30				100
	中	40	12					10		12				74
	下	48						11		15				74
6月	上						43							43
	中						33							33
	下						36							36
7月	上						36							36
	中						3							3
	下						33							33
8月	上				33									33
	中				30									30
	下				3									3
9月	上				33									33
	中				43									43
	下				33									33
10月	上				33									33
	中				46									46
	下				55									55
11月	上				42			12	3	2				59
	中							12	3	3				18
	下							13	3	3				19
12月	上							12	4	8				24
	中							12	4	16				32
	下							14		12				26
内容別 合計作業時間		404	120	0	358	7	184	218	32	301	0	0	0	1,624

※内容別合計作業時間の多い上位3つは黄色で網掛けしている。

※時期別合計作業時間が100時間を超えるものは緑で網掛けしている。

(2) バナナ

①経営体

1) 農業経営収支

単位：円

項目		10a 当たり	備考
生産額		343,000	
うち観光収入		0	
経営費	種苗費	0	自家採苗
	肥料費	0	
	農業薬剤費	0	無農薬栽培のため支出無し
	光熱動力費	15,000	
	その他諸材料費	1,450	
	土地改良及び水利費	0	
	賃貸料及び料金	0	
	租税公課	0	
	償却費	建物・施設	0
		農機具	6,000
		植物・家畜	0
	償却資産修繕費		2,920
	雇用労賃		0 家族経営
	共済掛金等		0
	販売経費	手数料	68,600
		選果料金等	0
		配送運賃	12,250
		包装資材費	7,840
	経営費計		114,060
所得		228,940	

2) 栽培体系

・ 主要事項

栽培方式等	主要栽培品種	10a 当たり株数	10a 当たり収量	主な販売先
露地	島バナナ	100 本	700kg	本土業者への直接販売、県内生協、道の駅等
	ギンバナナ※	100 本	1,000kg	

※ナムワ系の品種とされている。

・ 管理

① 灌水	干ばつ時には、灌水を行いたいが、手が回らないので、自然任せである。		
② 病虫害対策	主な病虫害名	発生時期	主な対策
	バンチートップ病	周年	罹病株の除去
③ 台風対策	台風襲来時に葉身を 1/3 程度、鎌で切除すると効果があるが、果指肥大の遅延や品質劣化を引き起こすため、現在はやっていない。		
④ 日照管理	植栽距離を十分取っているので、特に問題がない。		

・ その他

栽培上の特徴	元々は、野菜栽培主体に農業を行ってきた。バナナ栽培に至った動機は、①スーパーマーケットで売られているバナナが、フィリピン産がほとんどで、国産バナナがなかったこと、②外国から輸入されるバナナは、栽培中及び収穫後も大量の農薬が使用されていることである。これらのことから、沖縄県内で農薬を使用せず、バナナを栽培したい思いが募り、実行に移している。 バナナの畝間にウコンを植えることにより、バナナへは施肥を行わず、収益性の向上と防草を兼ねている。 また、可能な限り台風時期の前（7月中旬頃まで）に収穫を行うことで、被害が出ないよう工夫している。
人員確保の方法	基本的には、家族（本人、妻、息子）で栽培管理から収穫、梱包まで行っている。バナナと春ウコン、秋ウコンの管理や収穫作業が重なる時期に近隣の応援を頼んでいる。
経営上の課題	露地栽培のため、生産の豊凶が、台風に左右されることが課題である。

• 10a 当たりの年間作業内容

月	旬	収穫・出荷	古株除去、耕起、定植準備	定植	除草	施肥	病虫害防除	灌水	雄花苞除去、摘果、袋かけ	商談、研修他	時期別合計 作業時間
1月	上										0
	中										0
	下										0
2月	上										0
	中										0
	下										0
3月	上		8	8					50		66
	中										0
	下										0
4月	上										0
	中										0
	下										0
5月	上										0
	中	26									26
	下										0
6月	上										0
	中	26									26
	下										0
7月	上										0
	中	26									26
	下		19								19
8月	上						2				2
	中										0
	下										0
9月	上										0
	中										0
	下										0
10月	上										0
	中										0
	下										0
11月	上										0
	中										0
	下										0
12月	上										0
	中										0
	下										0
内容別 合計作業時間		78	27	8	0	0	2	0	50	0	165

※内容別合計作業時間の多い上位3つは黄色で網掛けしている。

※時期別合計作業時間が100時間を超えるものは緑で網掛けしている。(該当なし)

⑧経営体

1) 農業経営収支

単位：円

項目		10a 当たり	備考	
生産額		972, 150		
	うち観光収入	0		
経営費	種苗費		10, 290	
	肥料費		4, 059	
	農業薬剤費		0	無農薬栽培のため支出無し
	光熱動力費		25, 000	
	その他諸材料費		0	
	土地改良及び水利費		0	
	賃貸料及び料金		0	
	租税公課		0	
	償却費	建物・施設	398, 667	うちH鋼ハウス代 392, 667 円
		農機具	23, 158	
		植物・家畜	0	
	償却資産修繕費		3, 474	
	雇用労賃		44, 000	パート雇用
	共済掛金等		0	
	販売経費	手数料	68, 051	
		選果料金等	0	
配送運賃		0	自家用車で配送するため支出無し	
包装資材費		0		
経営費計		576, 699		
所得		395, 451		

2) 栽培体系

・ 主要事項

栽培方式等	主要栽培品種	10a 当たり株数	10a 当たり収量	主な販売先
H鋼ハウス、露地	島バナナ	100 本	2,199kg	県中央卸売市場 直売所

・ 管理

① 灌水	春	1 回／月		
	夏	2 回／月		
	秋	1 回／月		
	冬	無し		
② 病虫害対策	主な病虫害名	発生時期	主な対策	
	ゾウムシ	周年	ニトベギクを忌避作物として混植している。	
③ 台風対策	台風が接近したら、下葉を中心に切り落とす。			
④ 日照管理	ハウス内は、周年、2mm ネットで遮光している。			
⑤ その他作業	2ヶ月に1回、除草作業をかねてトラクターで中耕する。			

・ その他

栽培上の特徴	県内では珍しいバナナのハウス栽培も行っており、草丈が高くなると、ビニールを除去する予定である。 露地では、バナナの畝間にニトベギクを植えており、収益性の向上と防草・害虫防除を兼ねている。
販売上の工夫	島バナナの果実だけでなく、苗の販売もしている。また、ハウス内栽培は、露地に比べて、収穫期をずらすことができるため、流通量の少ない時期に高単価で販売している。
人員確保の方法	管理は家族で行うが、収穫、出荷調製は一部パート雇用で行っており、全体の作業時間の内、1割程度である。
経営上の課題	台風が少ない年は豊作となり、収穫量は増えるが、市場においては、販売単価が下落しやすいため、県外へのネット販売等により、売上の安定化を図ることを検討している。また、島バナナは草丈が高くなり、収穫作業が大変になるため、茎を切断することで対応しているが、収穫量が落ちることが課題である。

- 10a 当たりの年間作業内容（雇用労働による作業を含む）

月	旬	収穫・出荷	古株除去、耕起、定植準備	定植	除草	施肥	病害虫防除	灌水	雄花苞除去、摘果、袋かけ	商談、研修他	時期別合計 作業時間
1月	上		5					2			7
	中					5					5
	下										0
2月	上				5						5
	中										0
	下										0
3月	上		24						2		26
	中								2		2
	下	25							2		27
4月	上	43		8		4			1		56
	中	13			5		2	2	1		23
	下	30							1		31
5月	上	52							1		53
	中	40					2				42
	下	55			5						60
6月	上	24									24
	中	34			5						39
	下	18									18
7月	上	38						2			40
	中	16							1		17
	下	1						2	1		4
8月	上	13			5						18
	中	24			5			2			31
	下	18									18
9月	上	24									24
	中	24			5						29
	下					4		2			6
10月	上										0
	中										0
	下							2			2
11月	上				5						5
	中							2			2
	下										0
12月	上										0
	中							2			2
	下										0
内容別 合計作業時間		492	29	8	40	13	4	18	12	0	616

※内容別合計作業時間の多い上位3つは黄色で網掛けしている。

※時期別合計作業時間が100時間を超えるものは緑で網掛けしている。（該当なし）

◎経営体

1) 農業経営収支

単位：円

項目		10a 当たり	備考
生産額		187,442	
	うち観光収入	0	
経営費	種苗費	3,099	
	肥料費	6,843	
	農業薬剤費	0	無農薬栽培のため支出無し
	光熱動力費	16,043	
	その他諸材料費	18,639	
	土地改良及び水利費	6,145	
	賃貸料及び料金	9,421	
	租税公課	7,904	
	償却費	建物・施設	1,338
		農機具	29,364
		植物・家畜	0
	償却資産修繕費		3,745
	雇用労賃		0
	共済掛金等		0
	販売経費	手数料	0
		選果料金等	0
		配送運賃	0
		包装資材費	0
	経営費計		102,541
所得		84,901	

2) 栽培体系

• 主要事項

栽培方式等	主要栽培品種	10a 当たり株数	10a 当たり収量	主な販売先
露地栽培	イスラエル※	110 本	2,000kg	オーガニックマーケット、レストラン等
	モンキー	110 本	1,800kg	
	ナムワ	110 本	1,800kg	
	島バナナ	100 本	1,800kg	
	三尺	90 本	-	

※通称名、品種は不明

• 管理

① 灌水	春	無し		
	夏	2 回/月		
	秋	無し		
	冬	無し		
② 病虫害対策	主な病虫害名		発生時期	主な対策
	萎凋病		夏	
	ゾウムシ（パナマ病）		6 月～ 8 月	
③ 台風対策	圃場の周囲にイスノキを植栽している。			
④ 日照管理	なし			
⑤ その他作業	2～3 ヶ月に 1 回除草する。			

• その他

栽培上の特徴	有機認証を取得しており、堆肥、米ぬか、海藻等により栽培している。
販売上の工夫	有機栽培のため買い手が農場まで来訪するため、自分で出荷する労力が不要である。一部、個人やネット販売もしている。 主な出荷先は 9 カ所である。
人員確保の方法	家族経営のみ。
経営上の課題	露地栽培のため、生産の豊凶が、台風に左右されることが課題である。

• 10a 当たりの年間作業内容

月	旬	収穫・出荷	古株除去、耕起、定植準備	定植	除草	施肥	病虫害防除	灌水	雄花苞除去、摘果、袋かけ	商談、研修他	時期別合計 作業時間
1月	上										0
	中	5									5
	下										0
2月	上	1		1					1		3
	中									1	1
	下										0
3月	上	1									1
	中										0
	下										0
4月	上										0
	中	3									3
	下										0
5月	上				1						1
	中				1						1
	下										0
6月	上										0
	中	3			1						4
	下	1									1
7月	上	10									10
	中	3									3
	下	1									1
8月	上	1									1
	中	1			6					2	9
	下	2									2
9月	上									1	1
	中	1									1
	下										0
10月	上	1			4						5
	中										0
	下	2			1						3
11月	上		1								1
	中		2								2
	下		4								4
12月	上			2		4					6
	中				2	2					4
	下				2						2
内容別 合計作業時間		36	7	3	18	6	0	0	1	4	75

※内容別合計作業時間の多い上位3つは黄色で網掛けしている。

※時期別合計作業時間が100時間を超えるものは緑で網掛けしている。(該当なし)

(3) コーヒー

①経営体

1) 農業経営収支

単位：円

項目		10a 当たり	備考
生産額		1,849,200	
うち観光収入		1,519,200	収穫体験、カフェでの飲料販売含む
経営費	種苗費	0	
	肥料費	6,750	
	農業薬剤費	0	無農薬栽培のため支出無し
	光熱動力費	12,659	
	その他諸材料費	25,683	
	土地改良及び水利費	2,000	
	賃貸料及び料金	204,000	カフェの家賃、運営費等
	租税公課	0	
	償却費	建物・施設	0
		農機具	22,305
		植物・家畜	5,550
	償却資産修繕費		22,594
	雇用労賃		0
	共済掛金等		0
	販売経費	手数料	0
		選果料金等	0
		配送運賃	3,675
		包装資材費	1,225
	経営費計		306,441
所得		1,542,759	

2) 栽培体系

・ 主要事項

栽培方式等	主要栽培品種	10a 当たり株数	10a 当たり収量	主な販売先
H 鋼ハウス (ネット被覆)	ニューワールド 1 号	150 本	450～600kg	カフェ、収穫体験
	ニューワールド 2 号	150 本	450～600kg	オーナー制

・ 管理

① 灌水	春	無し		
	夏	7 月上下旬、8 月中旬に降雨が 1 週間ない場合、1 回灌水する。		
	秋	無し		
	冬	無し		
② 病虫害対策	主な病虫害名	発生時期	主な対策	
	カミキリムシ類	春～夏	鶏放飼による捕食	
	ボクトウガ	春～夏	鶏放飼による捕食	
③ 台風対策	2mm 目の防風ネットで H 鋼ハウスを被覆している。			
④ 日照管理	株間に被陰のため、バナナまたはパパイヤを植栽している。 防風対策兼用でハウスに被覆された 2mm 目の防風ネットが遮光の役目もしている。			

・ その他

栽培上の特徴	施肥については、牛糞堆肥、鶏糞施用による有機栽培である。園地に鶏を放飼することにより、糞による施肥、害虫捕食、草を餌とする除草効果、鶏卵、鶏肉の副産物を得ている。
販売上の工夫	マンゴー栽培も行っているので、コーヒー豆もセットにしてネット販売をしている。農園でカフェを開き、飲料販売も行っている。また、コーヒーの木オーナー制度を設けており、長期的な顧客との関係を築いている。
人員確保の方法	今のところ、本人を主体に、栽培からコーヒー豆の処理、カフェにおける飲料販売を行っている。
経営上の課題	ハウス内に植栽しているが、一部で台風による被害を受けており、防風垣等の強化が必要である。

• 10a 当たりの年間作業内容

月	旬	収穫	加工 (脱皮、分皮、脱ニカワ)	調製 (選別、焙煎)	園地造成、耕起	元肥 (肥料、堆肥)、 土壌改良剤施用	定植	除草	施肥	病虫害防除	灌水	台風対策	整枝、剪定	時期別 作業時間 合計
1月	上	14	6	17										37
	中	14	6	17										37
	下	14	6	17	13	4								54
2月	上	14	6	17										37
	中	14	6	17										37
	下	14	6	17										37
3月	上	14	6	17			8	4						49
	中	14	6	17										37
	下	14	6	17										37
4月	上													0
	中													0
	下													0
5月	上													0
	中													0
	下													0
6月	上							4						4
	中													0
	下													0
7月	上										2	5		7
	中													0
	下										2			2
8月	上								4					4
	中										2			2
	下													0
9月	上							4						4
	中													0
	下													0
10月	上	14	6	17										37
	中	14	6	17										37
	下	14	6	17										37
11月	上	14	6	17						5				42
	中	14	6	17										37
	下	14	6	17										37
12月	上	14	6	17										37
	中	14	6	17										37
	下	14	6	17										37
内容別 合計作業時間		252	108	306	13	4	8	12	4	5	6	5	0	723

※内容別合計作業時間の多い上位3つは黄色で網掛けしている。

※時期別合計作業時間が100時間を超えるものは緑で網掛けしている。(該当なし)

⑧経営体

1) 農業経営収支

単位：円

項目		10a 当たり	備考
生産額		1,111,743	
	うち観光収入	525,000	収穫体験含む
経営費	種苗費	0	
	肥料費	26,056	
	農業薬剤費	2,730	
	光熱動力費	3,295	
	その他諸材料費	9,393	
	土地改良及び水利費	0	
	賃貸料及び料金	0	
	租税公課	0	
	償却費	建物・施設	0
		農機具	54,951
		植物・家畜	5,200
	償却資産修繕費		22,584
	雇用労賃		0
	共済掛金等		0
	販売経費	手数料	0
		選果料金等	0
		配送運賃	5,634
		包装資材費	16,433
	経営費計		146,276
所得		965,467	

2) 栽培体系

・ 主要事項

栽培方式等	主要栽培品種	10a 当たり株数	10a 当たり収量	主な販売先
露地	ティピカ	150 本	450kg	県外へ生豆の販売
	ニューワールド1号	150 本	450kg	県内の喫茶店へ生豆の販売

・ 管理

① 灌水	春	無し		
	夏	7 月上下旬、8 月上中下旬に計 5 回灌水する。		
	秋	無し		
	冬	無し		
② 病虫害対策	主な病虫害名	発生時期	主な対策	
	ボクトウガ	5 月中旬	蛾の幼虫が入った幹に殺虫スプレーを注入する。	
③ 台風対策	園地が森林に囲まれた環境にあり、比較的台風害が軽い。台風が当たりやすい園地にのみ、2mm 目の防風ネットを設置している。			
④ 日照管理	園地が森林に囲まれた環境にあるので、日の出が遅く、日の入りが早い。従って、強い日差しに当たる時間が短いので、特に遮光をしなくても、順調に生育する条件が整っている。			
⑤ その他作業	コーヒー葉を利用した茶の製造を試みていて、製茶に関わる摘葉、乾燥等の作業がある。			

・ その他

栽培上の特徴	施肥については、一部有機入り化成肥料を施用しているが、基本的な栽培のコンセプトは、堆肥等を主体にして、有機栽培をすることである。 園地が海岸から遠く離れた山中にあり、台風害がほとんど出ないこと、自然の森林に囲まれていることで、特に遮光をしなくても、順調な生育が期待できる等、栽培条件に最も恵まれており。高品質のコーヒー生産が期待できる。
販売上の工夫	販売の主体は、生豆の県内外の喫茶店向けである。
人員確保の方法	現在のところ、本人と両親の 3 名の労働力でほぼ足りている。
経営上の課題	園地は場所により、湿度も高く、病気の発生リスクは高まる。立地的に主要道路から離れており、観光農園としては、来園客にとってはアクセスが難しい。一方、トレッキングのような体験ができる付加価値を有しており、魅力の発信が鍵となる。

• 10a 当たりの年間作業内容

月	旬	収穫	加工 (脱皮、分皮、脱ニカワ)	調製 (選別、焙煎、カフェ運営等)	園地造成、耕起	元肥 (肥料、堆肥)、土壌改良剤施用	定植	除草	施肥	病害虫防除	灌水	台風対策	整枝、剪定	時期別合計 作業時間
1月	上	15	8	20										43
	中	15	8	20										43
	下	15	8	20										43
2月	上	15	8	20										43
	中	15	8	20		16								59
	下	15	8	20										43
3月	上								4					4
	中											8		8
	下						8							8
4月	上							24						24
	中													0
	下													0
5月	上													0
	中								4					4
	下													0
6月	上											16		16
	中							26						26
	下													0
7月	上										4			4
	中							24			4			28
	下													0
8月	上										4			4
	中										4			4
	下							26			4			30
9月	上													0
	中													0
	下													0
10月	上	15	8	20					4					47
	中	15	8	20				24						67
	下	15	8	20										43
11月	上	15	8	20										43
	中	15	8	20										43
	下	15	8	20										43
12月	上	15	8	20										43
	中	15	8	20										43
	下	15	8	20										43
内容別 合計作業時間		225	120	300	0	16	8	124	12	0	20	16	8	849

※内容別合計作業時間の多い上位3つは黄色で網掛けしている。

※時期別合計作業時間が100時間を超えるものは緑で網掛けしている。(該当なし)

◎経営体

1) 農業経営収支

単位：円

項目		10a 当たり	備考
生産額		3,819,600	
	うち観光収入	3,819,600	収穫体験、カフェでの飲料販売含む
経営費	種苗費	0	
	肥料費	112,000	
	農業薬剤費	0	無農薬栽培のため支出無し
	光熱動力費	9,000	
	その他諸材料費	90,730	台風対策、遮光のためのパイプ等
	土地改良及び水利費	0	
	賃貸料及び料金	0	
	租税公課	0	
	償却費	建物・施設	122,500 カフェ施設等
		農機具	79,125 乗用型草刈り機等
		植物・家畜	5,550
	償却資産修繕費		52,920
	雇用労賃		972,000 パート雇用、周年雇用
	共済掛金等		0
	販売経費	手数料	0
		選果料金等	0
		配送運賃	0
		包装資材費	0
	経営費計		1,443,825
所得		2,375,775	

2) 栽培体系

・ 主要事項

施設	栽培方式	主要栽培品種	10a 当たり株数	10a 当たり収量	主な販売先
平張りハウス (ネット被覆)	土耕	カトウアイ	180 本	540kg	自社カフェで 飲料用及び収 穫体験
		ニューワールド1号	160 本	480kg	
		ニューワールド2号	160 本	480kg	

・ 管理

① 灌水	春	無し	
	夏	無し	
	秋	無し	
	冬	無し	
② 病虫害対策	主な病虫害名	発生時期	主な対策
	ボクトウガ	春～夏	幼虫が入っている樹幹の穿孔部を針金で突いて捕殺
③ 台風対策	平張りハウスは、遮光兼用で2mm 目の防風ネットで全面被覆している。 更に、ハウス周辺は、ハイビスカスと月桃混植の防風林で囲っている。		
④ 日照管理	防風対策兼用で、2mm 目防風ネットで囲み、遮光をしている。		

・ その他

栽培上の特徴	施肥は、牛糞堆肥、鶏糞の有機肥料を用いており、今のところ、化学肥料を使わない栽培が行われている。病虫害の防除でも農薬は使っていない。
販売上の工夫	生産されたコーヒー豆は、ほぼ全量自社カフェで飲料として販売している。また、果肉をジャムに加工することで、付加価値を付けている。もう一つの重点販売は、収穫体験である。2018 年の収穫体験者数は、約 500 名、1 名当りの単価が 3,000 円であった。今後、値上げも検討している。
人員確保の方法	畑の管理作業、収穫関連作業のため、パート職員を雇用している。特に、収穫から焙煎までの工程については、商品の価値を決定する重要な作業のため、台湾等に視察に行き、技術向上に努めた職員に一任することで、一貫した品質の確保を行っている。雇用労働は、全体の作業時間の内、6 割程度である。
経営上の課題	台風対策のためのハウス整備は初期費用がかかるため、課題と認識している。また、規模拡大する上で、生豆の精選工程の機械化を検討しているが、性能や使用方法、製造メーカーに関する知識が不足している。

- 10a 当たりの年間作業内容（雇用労働による作業を含む）

月	旬	収穫	加工（脱皮、分皮、脱ニカワ）	調製（選別、焙煎、カフェ運営等）	園地造成、耕起	元肥（肥料、堆肥）、土壌改良剤施用	定植	除草	施肥	病害虫防除	灌水	台風対策	整枝、剪定	時期別合計 作業時間
1 月	上	24	18	28		30								100
	中	24	18	28	8	46								124
	下	24	18	28		30				4				104
2 月	上	24	18	28		30								100
	中	24	18	28		30							8	108
	下	24	18	28		30								100
3 月	上	24	18	28			16							86
	中	24	18	28				5						75
	下	24	18	28				8						78
4 月	上			4										4
	中			4									15	19
	下			4				5						9
5 月	上			4				8						12
	中			4										4
	下			4						4				8
6 月	上			4						4				8
	中			4				5						9
	下			4				8	4					16
7 月	上			4										4
	中			4										4
	下			4										4
8 月	上			4				13						17
	中			4										4
	下			4										4
9 月	上			4										4
	中			4										4
	下			4										4
10 月	上	24	18	28				8						78
	中	24	18	28				5						75
	下	24	18	28										70
11 月	上	24	18	28										70
	中	24	18	28										70
	下	24	18	28										70
12 月	上	24	18	28										70
	中	24	18	28										70
	下	24	18	28										70
内容別 合計作業時間		432	324	576	8	196	16	65	4	12	0	0	23	1,656

※内容別合計作業時間の多い上位3つは黄色で網掛けしている。

※時期別合計作業時間が100時間を超えるものは緑で網掛けしている。